

ECU(Emergency Care Unit)

診療科

救急科

病床数

12床

看護師数

看護師長1名、副看護師長4名、看護師31名

看護体制

4対1看護体制



主な疾患

意識障害または昏睡、急性呼吸不全または慢性呼吸不全の急性増悪、急性心不全（心筋梗塞を含む）、急性薬物中毒、ショック、重篤な代謝障害（肝不全、腎不全、重症糖尿病等）、広範囲熱傷、大手術を必要とする状態、救急蘇生後、その他外傷や破傷風等で重篤な状態

治療・検査

ECU病棟には内因性疾患の急性発症や増悪、外傷や熱傷などの外因性疾患により集中治療が必要な患者が入室しています。人工呼吸器・NPPV（非侵襲的陽圧換気療法）・HFNC（高流量鼻カニューラ）・輸液ポンプ・シリンジポンプなどのME機器を使用した全身管理を行っています。そして、疾患に応じて治療（手術やカテーテル治療、内視鏡検査など）前後の急性期看護を行っています。

また、救急外来では救急患者の初療、災害発生時には初動の中心的役割を担っています。

ECUには、ドクターヘリに搭乗する資格を取得したフライトナースや災害発生時に現場で活動する資格を取得したDMAT隊員が在籍しており、病院以外でも看護を行っています。

救急外来での三次救急患者に対する救命処置では、患者の全身状態の把握、処置の介助を行います。必要な手術や治療がスムーズに進むように他部署、他職種と調整を行い協働しています。

ECU病棟では、変化する患者の状態に対応できるように常に観察を行いながら、苦痛の軽減に努め日常生活の援助をしています。そして早期社会復帰に向けて、医師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、栄養士など多職種と計画的にリハビリや退院支援を行い、他病棟や他医療機関と連携しています。

また、突然の病気や怪我により精神的にショック状態にある患者・家族に寄り添う看護ができるよう、医師からの説明の場への同席による理解状況の確認や意思決定支援、オンライン面会を導入しています。

看護の特徴

